

このセミナーで講師・茂木は一人の患者役を良くしたり、悪くしたり一瞬のうちに再現します！ 治すだけでは、正しい治療ではありません。生体現象としての症状を知るのなら、治すことの正反対にも操作できなくてはなりません。

古代中国の神医、扁鵲・華佗の透視治療の再現！

現代医療における最高峰、医学の理想は古代中国の神医・扁鵲である！古代中国という背景から、現代鍼灸の始祖として、脈診の元祖としても知られているが、塙の外から邸内の患者の体内透視をしたと伝承されている。これは、鍼灸を使わずに、手を触れずに患者を治療することができたはずで、遠隔透視治療をもしていたことを筆者は断言する。同じ治療をするから言うのである。これは鍼灸ばかりではなく、究極の手技治療家でもあることをカイロプラクター、オステオパスは知っていなくてはならない。扁鵲は鍼灸医師に対して鍼灸、脈診を説いたのであって、伝承されている能力から、鍼、灸の道具は全く不要であったはずだ。頭蓋オステオパシーのサザーランド、SOTのメジャー・ディジョネットと同類の医師であったことを心に留め、この現代手技治療の神医二人の医療をさらに我々は完成、発展しなければならないだろう。この二人はそれを望んでいると思っている。彼らだからこそ、人体の無限に未知なる世界を知っていたはずだ。

筆者・茂木自身が目指すとともに、少しでも多くの透視治療の扁鵲を輩出するセミナーを開催している。我こそはと思う手技治療家、鍼灸師は扁鵲治療を目指さないか！それは多くの病者、障害者のため、治療家の使命である。しかし、国内十万人以上の鍼灸師は使命感を持たず、病人を治すことが嫌いなのが現実である。

律動法と新鍼灸法は、なぜ人体全疾患を改善することが可能か！それは人体全体、体内まで診断するからである。そして、高度手技治療の指導において診断能力を向上させる、手指、身体感覚、感性を高める修練法があるが、不思議なことに鍼灸界には古来から、手指、身体感覚の練磨法が全くない。古典理論という抽象理論に固まっているから、手技治療界からは想像だにできない矛盾にも気づかない。

律動法

セミナー参加の前に臨床見学を！ 随時受入れ、問い合わせを！

カイロプラクティック、頭蓋オステオパシーとアメリカで発展した脊椎調整系の優れた手技治療も、近年、名だたるカリスマ的指導者、名人臨床家が影をひそめた。ある種、あまりに高度が故に、継承者の技量が追い着いていけなくなって、SOT（仙骨・後頭骨テクニック）はじめ偉大なテクニック理論を検証せず観念的にしか理解できなくなっている。アプレジャーのクラニアルテクニックなど、近年の流行は生体組織の診断を軽視した、直接、脳、硬膜の調整をする操作中心化している。昭和60年に創案したこの律動法は、カイロプラクティック、オステオパシー、頭蓋オステオパシーの高度な理論を、実技により検証することができる。律動法の学習は、これ等の各理論を研修して来た手技治療臨床家にとって一気に道が拓けてくるだろう。例えば、その触診が難解なDr. サザーランドが発見したクラニアリズムインパルス（CSI・脳液髄液循環）などの理論を著名な米国人ドクターさえ実技で教示することが困難であったが、律動法セミナーでは公開している。

律動法は生体現象をまさしく息づいている生命体としてとらえる。人体は肺呼吸と共に脳の呼吸運動、腎臓、腸の内旋、外旋、前転、後転、上下運動。そして頭蓋骨、脊椎、骨盤、頭蓋硬膜、そして脊椎全体の呼吸運動に伴う律動現象と、すべての障害の本である律動現象の障害をL5の律動変位をメジャーとして調整する。L5の律動変位のリスティングはPR又はPLである（L5変位のメジャー）。調整時間は5秒程度。従って全脊椎、骨盤、頭蓋骨、脳、内臓が穏やかに連動された正常な動きの変化を術者のみならず患者にはその一部を知覚されている。

新鍼灸法（半身症候鍼灸法）

透視診断の実際は臨床見学で、常時公開、またはHP動画で！
セミナー参加の前に臨床見学を！ 随時受入れ、問い合わせを！

国民の期待する西洋医学を超える鍼灸のために！ 国民の期待から逆行する鍼灸のエビデンス指向、学会では全く無効の美容鍼灸まで参入させた。学会は何を目的とし、なんの成果を上げているのか？

鍼灸の3000年弱の歴史中、素問靈樞が奇恒の腑として人体構成上最も重要な組織を廃除したことから、鍼灸は観念論となり発展性を失った。皮膚を剥がしたらその下は何も分からない。それはオステオパシー、カイロプラクティックの頭蓋骨、脳、脳脊髄液循環理論を対比するまでもない。

1. 確実な正常・異常の判定法を知る。既存のすべての鍼灸には身体組織の異常・正常の正確な診断法不在。鍼灸治療は古典理論を正常にするのではない。人体を正常にするものである。
2. 治す鍼灸をする：脊椎、頭蓋骨、内臓、脳を確実に知る診断法を所有する。古典では奇恒の腑として、隠ぺいされた。
3. 生体機能の鈍麻治療を止める。疼痛除去治療は知覚鈍麻作用により治癒を遅延させる。30秒以上の置鍼を止める。刺鍼後30秒経って効果が見られないときは誤治である。対症治療による鎮痛は生体機能の低下で治療ではない。西洋医学の神経ブロックに回せばよい。置鍼、散鍼は知覚鈍麻作用である。効果が直ぐ戻ることの理由である。

半身症候鍼灸の刺鍼点

右半身症候→ 右天柱付近の全身に対する反応点。 左半身症候→ 左天柱付近の全身に対する反応点。

中心症候→ 脳戸付近の全身に対する反応点。他の複合症候はその組み合わせである。

刺鍼後、瞬時に全身の気の流動が正常にならなければ誤診である。すべての組織に回復現象が起きる。

□ 医師の方に朗報！ 従来の診断学では読影不可能だったX線画像からの微細骨折の診断法を指導する。うつ病、精神疾患をはじめ現代西洋医学で限界な多疾患に著効をあげられる。27個の椎間板ヘルニアがすべての内臓に関与し、その改善ですべての内臓が回復する。今後、医師が手技治療、鍼灸に参入するべきである。新鍼灸法でも律動法でも学べます。

基礎シリーズ（全3回コース）

律動法基礎シリーズ（毎月第2日曜日）

12:00 ~ 15:00

第26期 1回平成30年7月8日（日） 2回9月9日（日） 3回10月14日（日）

第27期 1回平成30年11月11日（日） 2回12月9日（日） 3回1月13日（日）

●受講料：45,000円 ●柔整師、指圧師、鍼灸師、医師、カイロプラクター対象

●会場：横浜・周気堂治療室（東横線綱島駅下車）白衣持参（上着のみで可）

半身症候鍼灸基礎シリーズ（毎月第3日曜日）

12:00 ~ 15:00

第22期 1回平成30年7月15日（日） 2回9月16日（日） 3回10月21日（日）

第23期 1回平成30年11月18日（日） 2回12月16日（日） 3回平成31年1月20日（日）

●受講料：45,000円 ●鍼灸師 鍼灸学生 医師対象 白衣持参（上着のみ可）

●会場：新横浜はりセンター（JR新横浜駅北口徒歩6分）スケートセンターに隣接。

小冊子、律動法ガイド、新鍼灸法ガイドがあります。無料で送付、ご請求ください！

名人治療家への道

□人体は一定水準に達しないと見えてこない。まず自由診療患者を一日20人見ると少し見えてくる。30人で治療に自信がついてくる。50人を超すと楽しいくらい日々新発見をする。それからが本格的学習です。創始者茂木昭は一日の最高患者数は115人でした。これは半身症候鍼灸による臨床です。

□平成の世の扁鵲を育成！ 扁鵲の名人50人輩出が目標です。この中に医師が大勢入ることが医療の理想であろう！

律動法月例セミナー・毎月第2日曜日開催

休講月は事前にHPで通知。電話でもお問合せ下さい！

会場：律動法協会（周気堂治療室） 横浜市・東急東横線綱島駅北口下車③番または④番バスで5つ目
本科 13:00 ~ 16:00 受講料：10,000円 高田住宅前下車5分 TEL：045(531)2716

基礎シリーズ参加経験者限定。以前参加経験ある方はお問合せを！基礎シリーズ受講後飛躍的治療技術向上を目指した指導。受け身の受講では技術は身につかない。筋肉反射テスト、TRテスト、律動診断。全疾患の完璧な診断法、治療法を指導。全身のあらゆる疾患を改善するためには脊椎、頭蓋骨、脳の診断から腰椎5番の律動変位の調整ができなくてはならない。通常手技治療が不得手な内臓疾患の治療、子宮内膜炎、卵巣腫瘍等婦人科疾患に著効が得られる。骨折線の見えないX線の微細骨折診断も指導する。

半身症候鍼灸月例セミナー・毎月第3日曜日開催

休講月は事前にHPで通知。電話でもお問合せ下さい！

会場：新横浜はりセンター（JR新横浜駅北口徒歩6分）スケートセンターに隣接
本科 13:00 ~ 16:00 受講料10,000円 TEL：045(595)9994

基礎シリーズ参加経験者限定。以前参加経験ある方はお問合せを！新鍼灸法では、セミナー内容から外していた脳、頭蓋骨診断を近年の基礎シリーズより積極的にカリキュラムに入れダイナミックな治療を指導している。入門者から一気に熟達者レベルまで引き上げる内容である。臨床研修の場で実際の高度鍼灸を見聞しながら、各自の目標を立て、より早く半身症候鍼灸の臨床をマスターできるように、精細な実技指導をしている。難治性の腰痛、椎間板ヘルニア。脊柱管狭窄症、過敏性腸症候群、網膜変性症、難聴、うつ病等に至るまで参加者の挙げる、あらゆる難病の臨床を指導する。

□2種の治療法の創始者・茂木昭は、膨大な未知の人体理論、治療理論を知っている。それにはセミナー受講者のレベルの向上が必要です。多くの病苦に苦しむ人々を救える技能を指導、伝授するためにも参加者各位の一層の向上に向け邁進してほしい。

□治療家各位へ！ 皆さんは自身の身体をどのくらい知悉していますか？ 従来の治療家先輩が自己の身体をどれだけ知って、世を去ったのでしょうか！みな生涯をかけて臨床に打ち込んでも、自身の身体を知り尽くした治療家は皆無であったはず。自己の身体を知らずに、他人の生命を知り、他人を治療することはできない。

基礎シリーズ 月例セミナー 参加者へ

1. 基礎シリーズ参加者は事前に律動法・半身症候鍼灸のテキスト「奇跡の新鍼灸法と律動法」を熟読しておくこと。前書名は「生命のささやき」です。
2. 白衣持参 受講料は当日で結構ですが、参加申込は事前にご連絡を、HPでも出来ます。